



<学校教育目標>

心も体も元気な岡村っ子

おもいやりを持ち、
かがやく自分を求めて、
むちゅうになって共に学び
みらいを創っていく子



横浜市立岡村小学校・学校だより R3.9.30 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okamura/> 岡村小学校で検索

前期から後期へバトンタッチ

校長 川村 真弘

まもなく、前期終業式を迎えます。早いもので、令和3年度の半分が過ぎるのです。9月は緊急事態宣言が延長し、学校も分散登校・短縮授業が延長となり、新型コロナウイルス感染症予防対策に多くのご理解とご協力をいただきました。心より深く感謝申し上げます。文科省・横浜市教育委員会の感染症予防のためのガイドラインを遵守し、通常の学校教育活動へ近づけるための工夫をチーム岡村一丸となって進めているところです。

それはつまり、子どもたち、保護者、町の皆様と問題を共有し、自らを律し、相手を気遣い、学区全体で共感、協働している成果のお陰だと思えます。

私たちはその感謝の気持ちも込めて、10月30日土曜日開催予定の運動会「岡村オリンピック」を一層精進しながら、実施に向けてきめ細かく安全・安心を積み重ねて、子どもたちと一緒に可能な限り素敵な運動会を作っていく所存です。このような状況下だからこそ、「今作ることが出来る、味わうことが出来る、思い出に残すことが出来る」大行事を成功させようと思えます。

さて、8日(金)、前期終業日に「あゆみ」をお渡しします。今年度も新学習指導要領の理念に基づく書式で作成しました。お子さんと前期を振り返る機会です。そして、後期へつなぐ機会です。前期と後期の中間期間10月10日はまさに前期から後期へのティクオーバーゾーン。上手にバトンタッチを！

中央教育審議会答申 H28.12.21、新学習指導要領 H29.3 に脈々と流れる教育理念は、「変化を予想できない近未来に生きる子どもたちに、その時代を生き抜く、切り開く力を育む」ことでした。そこで育む資質・能力は、「生きて働く知識・技能」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等」「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等」と定義されました。さらに、資質・能力を育む方策が、多岐に渡って示されました。例えば、アクティブ・ラーニング(主体的な・対話的な深い学び)の授業づくり、道徳科や外国語科の新設、ICT 教育やプログラミング教育の導入、開かれた学校づくり(社会人材の積極的な参画・連携・協働)などです。授業(学習評価も含む)は、教師が子どもに教授するのではなく、友だちと教員と一緒に学び、子ども自身が自己評価しながら、作り上げることが求められています。

(令和2年「けやき」10月号:前校長 齊藤有厚先生巻頭言から一部引用)